

2024NAVI 事業 合宿ガイドライン

はじめに

本事業のスポーツ振興事業助成金は国からの運営費交付金、スポーツくじの売上及び民間企業からの寄附金等を財源としています。スポーツ活動全体に対する信頼を損ねないように、自覚を持ち行動すること。

1. 事業目的及び方針

- (1) 日本代表選手として将来オリンピックや世界選手権で活躍する選手を輩出することを目的としています。
- (2) 育成対象選手の基礎運動能力維持及び競技力向上に努めます。
- (3) 参加者の安全・健康を最優先します。

2. 活動の前提と条件

- (1) 当協会の各規範を遵守し、スポーツマンシップに則って活動すること。
【重要】「代表選手行動規範」を確認する（クリックで参照）
- (2) 日本国籍を有する選手。（全国公募型のキャンプはこれに限らない。）
- (3) 健康状態が良好であること。

3. 合宿参加にあたって

(1) 感染症・怪我予防

- 原則として、良好な健康状態で通常練習ができる状態で参加してください。
- 合宿参加者（選手・コーチ・スタッフ）は、合宿集合前3日間、合宿期間中の行動・検温記録を行い、体温・体調を担当指導者に報告・提出してください。
- 37.5度以上の発熱、体調の悪化がみられる場合は参加できません。
- 平熱が37度に近い選手は事前に報告を行い、過去3日間の検温最高値を超えた場合は参加できません。
- 不織布マスク、体温計、消毒グッズ（除菌シート、除菌スプレー 等）を持参してください。（合宿中に体調不良時には不織布マスクの利用を原則とします）
- 手洗い、うがいの徹底。
- 移動中および自室以外は原則不織布マスク着用を推奨します。
- 宿泊はツイン、トリプルの対応可とします。
- タオル、衣類、飲み物等、私物の共有は禁止です。
- 各自の荷物は毎度必ず自分の部屋に持ち帰ってください。
- 使用済みマスクなどのゴミは自室まで持ち帰り捨ててください。
- 治療中の怪我がある場合、かかりつけ医などの判断をご連絡いただき、参加の可否を決定します。

(2) 競技活動

前提として、練習場では換気を徹底し、ソーシャルディスタンスを保ち、水分補給や休息を十分に意識して実施します。

○怪我の予防に努めるため、トレーナーの指示に従い、柔軟から動的ストレッチなど時間をかけて行ってください。

○ストレッチを行う際は、個人用のストレッチマットやバスタオル等を利用してください。

○熱中症予防につき、適宜水分補給を行ってください。

○からだに痛みや異変を感じた際は、個人で判断・対処せず帯同トレーナーや指導者へ速やかに相談し、指示に従ってください。

(3) 生活面

前提として、事業期間中は指導者の指示に従い、時間を守って行動してください。

○現金、スマートフォン、タブレット、プリペイドカード等、金品に関わる貸し借りはトラブルの原因となるため行わないようにしましょう。

○合宿期間中、引率者の許可を得ない指定施設からの外出はできません。引率者の指定する時間に外出するか、やむを得ず必要な場合は外出理由と外出先を申し入れてください。

○合宿期間中、必要のない娯楽施設への立ち入りは認めません。

○SNS 上での写真の無断転載、過度な接触、誹謗中傷など相手が嫌がることはやめましょう。

○携帯電話を操作しながらの移動は事故の原因に繋がるため禁止です。

○原則指定された施設で過ごし、宿舍等で男女間の部屋の行き来は禁止です。

また、未成年の飲酒・喫煙は禁止です。発覚した場合は処分の対象とします。

○合宿中（食事中・移動時含む）のながらスマホやイヤホン着用は、コーチの指示が聞けない状況に陥り事故の原因となる可能性があるため禁止とします。

4. 体調不良者への対応

(1) 移動時

○体調不良の場合は直ちに保護者、指導者に連絡を入れ、現状を判断し対応します。

(2) 合宿期間中

○医療機関を受診し、状況判断後対応。（合宿時に保険証を持参すること）

感染症の疑いなし：自室待機とし、様子を見る。

感染症の疑いあり：合宿を取りやめ、即時解散。

○体調不良者は、保護者と連絡を取り、帰路方法等の対応を決定。体調不良の状態によっては保護者に引率を依頼し帰宅早退の対応となります。

5. 感染症の疑いが多数出た場合の対応

（新型コロナウイルス、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の疑いがある場合）

(1) 合宿を中止、即時解散とする可能性があります。

(2) 体調の状況によっては医療機関を受診、診断結果を NAVI 事務局へ報告してください。

6. その他

- 事業活動を阻害したり、信用を傷つけたりするような言動・行動はしないこと。
- 事業参加中に知りえた情報はむやみに第三者へ漏洩をしないこと。
- 事業参加中に生じた疑義は帯同コーチまたは事業担当者へ報告すること。
- 利用施設の付属備品について破損や紛失をしないように十分注意をすること。
- 故意や過失により利用施設に損害を与えた場合、その損害を賠償してもらう場合があります。
- スタッフの指示に従わない、周りに迷惑や危険な行為などが繰り返される場合は、参加をご遠慮頂くことがあります。
- 参加の意思を回答後、手配の変更が生じる場合、参加キャンセルは、いかなる理由でもキャンセル・変更手数料として参加費全額をお支払いいただきます。
- 広報活動や記録として、写真・動画撮影をする場合があります。都合が悪い場合、事前にお申し出ください。

以上